

二国二部門世代重複モデルにおける 紐付きトランスファーの経済厚生分析

名古屋大学大学院
経済学研究科博士後期課程

篠崎 剛*

要 約

本稿の目的は、二部門世代重複モデルの枠組みを用いて、資本財輸出国（抛出国）から資本財輸入国（受取国）への永続的な紐付きトランスファーが両国の経済厚生に与える影響を分析することである。資本量が一定である静学的な枠組みにおいては、二国の財への総需要量の変化が交易条件に影響を与えトランスファーが経済厚生へ与える間接効果となる。本稿のような動学的な枠組みにおいては、資本財の総需要の変化が資本蓄積量に影響を与えるため新たな間接効果が生じる。結果として、トランスファーの受取国が（i）それを資本財の購入のみに充てる場合、その経済厚生は必ず上昇する；（ii）資本財と消費財の両財の購入にあてる場合、受取国の経済厚生が低下し、抛出国のそれが上昇するトランスファー・パラドックスが発生する可能性がある。

キーワード：二部門世代重複モデル，紐付きトランスファー，時間選好率

JEL Classification: F11, F41, O41

* 連絡先：464-8601 名古屋市千種区不老町。E-mail：tuyosino@hotmail.com